



TOP > 観光スポット > 商店街、ショッピング > 唯一無二のピアノの音色に出会える「ベーゼンドルファー 東京」

シェア

ツイート



唯一無二のピアノの音色に出会える「ベーゼンドルファー 東京」

2022.01.14 UP 東京メトロ丸ノ内線沿線エリア 投稿者：まるっと中野編集部

[観光スポット] [商店街、ショッピング]



ハーモニータワーの1階にあります。

「ベーゼンドルファー 東京」は、東京メトロ丸ノ内線「中野坂上駅」から直結している複合施設ハーモニースクエアのハーモニータワー1階にある、ベーゼンドルファーの総代理店です。

ベーゼンドルファーは、1828年に音楽の都・ウィーン（オーストリア）で誕生した現存する最古のピアノメーカーの1つ。職人のハンドメイドで1台1台丁寧に作られているのが特徴です。その素晴らしい唯一無二の音色は“ウイナートーン”と呼ばれ、世界中に多くのファンが存在しています。



ベーゼンドルファーピアノが並ぶ落ち着いた空間。

「ベーゼンドルファー 東京」はオーストリアで作られたベーゼンドルファーのピアノが、新品で輸入される日本で唯一のお店。ゆったりとした空間の店内は、1台で数千万円するベーゼンドルファーピアノが並べられており、その美しく気品のある佇まいに圧倒されてしまいます。まさに、ベーゼンドルファーピアノの美術館といったような場所です。



音色、構造、装飾など、どこをとっても芸術品と呼べる逸品のピアノばかりです。

ここには国内最大の展示台数と主要なラインナップが揃えられたショールームとしての機能以外にも、スタジオやピアノ工房が併設されています。また、ベーゼンドルファー認定の専門調律技術者が常駐しており、ベーゼンドルファーピアノのメンテナンスも行っています。



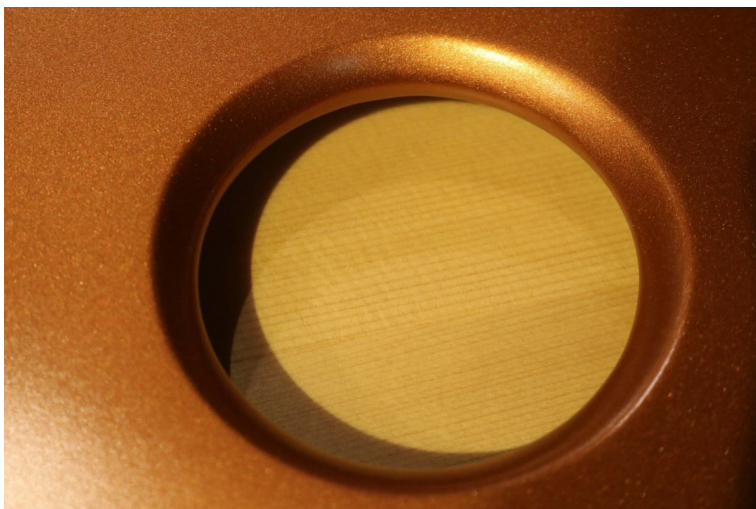
ベーゼンドルファーピアノ「Model 225」。1980万円（税込）

店内で試弾を希望する場合は、電話で予約が必要です。スタジオなどの利用に関しては、コンクールやリサイタルでベーゼンドルファーピアノの演奏予定がある方などに貸出しを行っています。



創業当初から、すべてのピアノに作られた順番にナンバリングがされています。こちらは51142台目に作られたものです。創業が1828年なので、1年に約300台のペースで作られている計算になります。

ベーゼンドルファーピアノは、すべて同社のあるオーストリアで作られています。使用される木材は、アルプス山脈の北側の標高800m以上で育った樹齢90年以上の木のみ。厳しい環境下で育った木は年輪が詰まっているため、音がピアノ全体に伝わりやすくなるそうです（この美しい木目は響板で実際に見ることができます）。



間隔が細くて均一な響板の年輪。

その後、伐採された木材は屋外で約5年間乾燥されます。しっかりと自然に乾燥させることで、反りやねじれが少なく最高品質の素材に。そこから職人の手によって、約1年かけて組み立てられていきます。そのため1台完成するのに6年もの時間を費やす計算に。木の成長時間も含めると100年もの長い期間をかけて作られていることとなります。

加えて、創業以来守られている伝統工法や職人の熟練した技術・こだわりが随所に散りばめられているのもベーゼンドルファーピアノの特徴です。



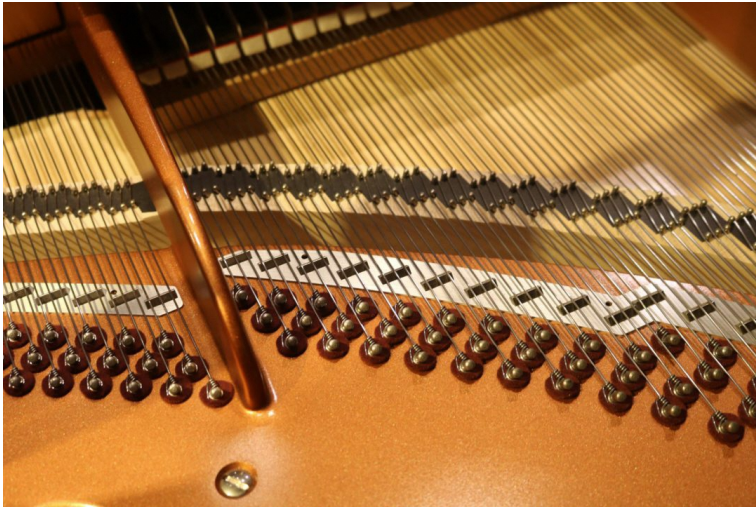
蝋燭台のついたクラシックなモデルも。

なかでもピアノを形づくる側板は、ベーゼンドルファーピアノの技術の結晶の一つ。普通のピアノは曲線を再現するために、加工しやすい薄い合板材を重ねて側板を作ります。しかし、ベーゼンドルファーピアノの側板は、木に切り込みを入れていき曲げていきます。この技術により、自然なカーブを作れるだけでなく、響板と同じ素材が使えることで弦楽器のような箱鳴りを再現できます。



厚い木の板に切り込みを入れて曲げていきます。

また1本ずつ巻かれた弦も特徴です。通常一つの鍵盤に2~3本の弦が渡されており、普通のピアノでは1本の弦を往復させていますが、ベーゼンドルファーピアノは全ての鍵盤に対して1本の弦を手作業で巻いています。1本の弦で成り立っていることで、より良い調律安定性が得られるとのこと。そのため弦の丈夫さを維持でき、音もクリアで独自性が保てるようになるそうです。



鍵盤に対して1本ずつ付いている弦。

ベーゼンドルファーピアノは装飾も芸術品と呼べる逸品。ハンドメイドで作られているため、それぞれの時代の華やかな文化を取り入れた装飾や、美しい木地を使った特殊な外装なども魅力です。



オーストリア生まれの画家である「グスタフ・クリムト」の絵画を、屋根の裏側にデザインしたモデルも。



マホガニーの木で作られた美しい外装。ハンドメイドで作られているため、好みの木地を使った特注の外装に仕上げられます。

現在は実施されていませんが、ショールーム内で無料のコンサートも開催されています。再開時は、ベーゼンドルファーピアノの美しい音色に耳を傾けてみてください。



ハプスブルク家の紋章の入った、帝室御用達のモデルも。ベーゼンドルファーピアノは1868年には明治天皇の皇后にも贈られ、その際は菊の御紋が入っていたそうです。

ベーゼンドルファー 東京

所在地 中野区本町1-32-2 ハーモニースクエア内 ハーモニータワー1F

電話 03-6681-5189

アクセス 東京メトロ「中野坂上駅」直結

営業時間 10:00～17:00

定休日 月曜日、日曜日 ※ショールームご来店可能日は火曜日・木曜日・土曜日

★公式サイトは[コチラ](#)



※問い合わせ先の記載がない記事については、まるっと中野編集部までお問い合わせ下さい。

掲載場所近隣の区民の皆様にご迷惑をおかけすることはご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

※掲載情報は全て記事取材当時のものです。